



孝道から行動、そして世界へはばたく。

第3回 授業研究大会 **11/8 (金)**

12:00~16:30

12:00~ 受付
12:45~14:00 開会式・記念講演
14:20~15:10 公開授業
15:40~16:30 研究協議

HIBARIGAOKAGAKUEN



雲雀丘学園中学校・高等学校

〒665-0805 兵庫県宝塚市雲雀丘4-2-1 TEL:072-759-1300 FAX:072-755-4610 <https://hibari.jp>



事前申込制
10月1日より
受付スタート

※定員に達し次第締め切り

申し込みは **本校HPにて受付**

雲雀丘学園中高等学校 第3回 授業研究大会

研究主題

「新入試を視野に入れた 探究型授業を目指して」

◆公開授業内容

中学1年 数学(代数)

「グループ学習における タブレットの活用」

生徒各自のタブレット端末を活用することにより、問題の解き方を共有して考えさせます。解き方をわかりやすくまとめたり、発信したりする力を身につけることを目指します。

[担当者] 大槻 和志 [定員] 20名

中学1年 社会(地理)

「比較地誌を発表する」

中1の地理では世界地理について学んでいます。生徒たち各自のタブレットを使って、興味のある国について調べ、まとめたものを教材として、調べた国のことを見発表し合い、比較地誌の学習につなげます。

[担当者] 渕上 貴代 [定員] 20名

高校1年 数学(数学I)

「グループ探究学習で円周率を探る」

小学生の時からなじみのある円周率の値を「アルキメデスの方法」で探究していきます。必要な三角比の値を前時に三角比の知識を使って求め、本時にそれらを使い、円周率の値を突き詰めます。グループで学習し、クラス全体で共有することで「対話的で主体的な学び」から「深い学び」につなげます。

[担当者] 井上 正行 [定員] 20名

記念講演

鳥取大学名誉教授(医学博士)。専門は予防医学(環境衛生学)、分析化学。鳥取大学在職中は、鳥取大学産学・地域連携推進機構研究推進部門長(教授)、鳥取総合分析研究懇談会会長、日本分析化学会代議員、日本衛生学会評議員、鳥取県環境審議会委員などを歴任。平成9年には鳥取大学科学研究業績表彰。また、雲雀丘学園と鳥取大学の新規連携事業「雲雀丘学園サイエンス・キャンプ in 鳥取大学(現 Hibari探究プロジェクト)」の創設と推進、並びに鳥取県内の児童に科学の楽しさを伝える科学教育推進事業を行った。現在は、鳥取大学研究者OBを中心とした建材中のアスベスト(石綿)無害化研究プロジェクトチームの無害化溶剤開発チームリーダーとして活躍中である。



田中 俊行 先生
(鳥取大学名誉教授)

CLIL型

中学2年 国語／英語

「言語を横断する心

～英語で短歌をよむ～

俵万智の「サラダ記念日」を題材に、日本語で書かれた短歌と英語で書かれた短歌を読み比べます。翻訳と解釈の違いを話し合いながら考え、表現者の心がどう言語を横断するのかを探ります。

[担当者] 平井 悠貴 / Rodney Bitanihirwe [定員] 20名

理科

中学3年

「生態系と人間生活」

中学3年生で学ぶ生態系分野は、高校の生物基礎・生物に直接つながる重要な範囲ですが、反応が目の前で見られるものではないので、特に自然に普段触れない生徒にはイメージしにくいものです。ヒトの生活や身近な生き物と関連づけることによって、本質的な理解を目指します。

[担当者] 岸本 喜樹 [定員] 20名

高校2年 理科(化学)

「酸化還元滴定実験」

受験頻出の「酸化還元滴定」について。実際の入試問題を用い、内容に沿った実験を行うことで、単なる解答作業ではなく、問題をより深く理解することを目指します。

[担当者] 上原 崇幹 [定員] 20名

家庭

「赤ちゃん学校へ行こう」

乳幼児をもつ地域のお母さんや卒業生に学校に来ていただき、高校生とふれあう授業を取り入れています。赤ちゃんとのふれあいから感じたこと・学んだことを生徒が発表します。

[担当者] 和田 由起子 [定員] 20名

研究大会の申し込みについて
ホームページからお申し込みください。

PCでのお申し込みができない場合は、TEL.072-759-1300(中高事務室)までご連絡ください。FAXでのお申し込み用紙をお送りします。
ご返信はFAX.072-755-4610 お申し込み期間外は受付できません。

<https://hibari.jp>

雲雀丘学園

検索

